

～子どもの成長と触れ合い～

『おんぶ』で登園する子どもに私が「おんぶしてもらえて、うれしいね」と声をかけると、保護者は、少し恥ずかしそうにしていました。そこで、「大変だけど、毎日おんぶでもいいからね」と保護者に言うと、「いいんですか？」と驚いていました。「いいよ。お子さんがしてほしいと望んでいる間は、ずっとしてあげて。歩きたくなったら、自分で歩くようになるから。それまでは、このままで大丈夫」と伝えると、「いいんですね」と表情がふっと柔らかくなり、「分かりました」と安心された様子でした。次の日からは恥ずかしそうな表情は消え、今では「おはようございます」と堂々とおんぶして登園されています。実はこうしたやり取りは、数年前にもありました。保護者は、周りの子がみんな歩いて登園しているのに、我が子だけがおんぶで登園していることに不安や気まずさを感じるのだと思います。しかし、子どもは、歩けないのではなく、『おんぶ』がいいのです。そこには、その子なりの理由があります。抱っこやおんぶは、親子の触れ合いの始まりであり、子どもにとって何より安心できる触れ合いです。子どもの思いに丁寧に寄り添い続けることで、きっと自分から動き出すときがきます。

思い出してみてください。お子さんが生まれた時は、いつも抱っこをしていましたよね。歩き始めてもしばらくは抱っこをしていましたね。それがいつしか、一人で歩くことがあたりまえになると、子どもから抱っこを求められることが少なくなり、自然と抱っこをしなくなります。おんぶや抱っこでの触れ合いができる時期は思っている以上に短いものです。子どもが成長し自立すると、親が触れ合いたくても、子どもが恥ずかしがってできなくなるときがきます。だからこそ、子どもが「抱っこをしてほしい」と望むうちは、いっぱいしてあげてください。親子の触れ合いは、子どもが幼い時だけではありません。おんぶや抱っこだけでもありません。例えば、『テレビを見ながら会話をする』『一緒にゲームをする』『ちょっとした時にスキンシップをとる』『一緒に料理を作る』など、いくつになっても日常の中にあります。特別なイベントがなくても、少し意識するだけでできることはたくさんあります。子どもの心を満たしてあげることが大切なのだと思います。この機会に我が子との触れ合いを意識し、親から触れ合いを求めてみてはいかがでしょうか。



一人で悩まないで、まず相談を

・刈谷市 子ども相談センター ～子どもに関する相談の総合的な窓口～

月～土曜 9時～17時（国民の祝日・年末年始を除く）

電話相談・来室相談

☎0566-62-6313

・愛知県 教育相談こころの電話 10時～22時 ☎052-261-9671